

札幌 スポーツ協会だより

一般社団法人
札幌市障がい者スポーツ協会
発行人 浅香博文
札幌市西区二十四軒2条6目
電話 011-612-1184
FAX 011-641-8966

ポストコロナのパラスポーツ展望

北海道教育大学岩見沢分校 大山祐太准教授

新型コロナウィルスが未だに猛威を振っている。コロナ禍のスポーツ実践においては消毒やマスクの着用などの手間が増えた他、他人と距離を取る、不要な会話はしないなど、スポーツの魅力の一つである「コミュニケーション」の質・量的な変化が求められた。

パラスポーツにおいては、自分一人だけでトレーニングするのが難しい選手もおり、指導者に医療関係者が多い実態もあるため、特に団体競技においては練習環境を整えることが難しい。元々競技人口が少なく、練習できる会場にも限りがあることが多いため、生活圏を越えた移動ができなければ練習が全くできないという事態も生じ得る。さらに、選手の障害や疾患の状態によっては、そもそもコロナ禍において競技をすること自体リスクが高いケースもある。質の高い練習をすることはもちろん、スポーツを楽しむこと自体のハードルが上がってしまった。

しかし、「従来のスポーツを捉え直す」良い機会になった面もあると思える。例えば、リモート指導などは対面指導ができない期間限定の代替品ではなく、新しい手法として充実し始めている。ノウハウが蓄積され、通信環境整備が進めば、小規模都市の自宅にしながら、様々な質の高い指導を受けることができるようになる。広域な北海道にとっては非常に有益だ。また、スポーツは食事や睡眠のような生命維持の活動とは異なる、まさに不要不急の活動にも関わらず、人間は大昔から愛好してきた。感染症の脅威に曝されながらも、スポーツをしたい・観たいと思ってしまう。我々人間にとっては「ただ生きる」ではなく「豊かに生きる」ことが重要なのだろう。しかし、勝利至上主義、それを前提とした選手の不誠実な行為の蔓延、不適切な指導の容認など、我が国のスポーツはその価値を歪めてきたように思う。今こそ、本質である「楽しむ」ことの重要性を再認識し、できることをしながらスポーツ文化の振興を目指すべきではないだろうか。



<第21回全国障害者スポーツ大会のお知らせ>

「三重とこわか大会」

スローガン 「ときめいて人 かがやいて未来」

大会日程 2021年10月23日(土)~25日(月)3日間 競技会場 三重県内9市町

実施競技 個人競技 7競技、団体競技 7競技、オープン競技 2競技



シットスキー・バイスキー指導者養成講習会及び体験会(告知)

◇シットスキー指導者養成講習会

期日: 令和2年12月27日(日)

会場: 中島体育センター(札幌市中央区中島公園1-5) 定員: 10人

◇バイスキー指導者養成講習会

期日: 令和2年12月19日(土)~20日(日)(2日間) 定員: 8人

会場: サッポロテイネ(札幌市手稲区手稲本町593)

◇シットスキー体験会(未経験者~初心者向け)

期日: 令和3年1月16日(土)

会場: 中島体育センター(札幌市中央区中島公園1-5) 定員: 10人

◇バイスキー体験会(未経験者~初心者向け)

期日: 令和3年2月11日(木・祝)

会場: 藤野野外スポーツ交流施設(札幌市南区藤野473-1) 定員: 12人

◇問合せ

札幌市スポーツ局企画事業課

TEL: 011-211-3044 FAX: 011-211-3046



パラスポーツクラブSAPPORO

子どもたちが集まって、気軽にパラスポーツを楽しめるクラブを札幌市が作りしました。

パラスポーツクラブSAPPOROは、子どもたちが定期的に集まり、指導者の下でさまざまなパラスポーツにチャレンジするクラブです。活動を通じて夢中になれる競技に出会えるほか、仲間同士が力を合わせて楽しむことの大切さを学びます。

HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS 代表 齊藤雄大さんからのメッセージ

競技人口の少ない北海道においては、選手が様々な種目に取り組みやすいようなシステムが必要です。世界で活躍できる選手を育成するためには発育発達段階に合わせたプログラムなどのジュニア世代の競技環境の整備が必要です。

お問合せ・申し込み先

一般社団法人 HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS

<http://h-adaptive-s.com/>



パラリンピアンからのメッセージ

part2

宮崎 哲 選手 水泳 札幌出身

- ・2010年(オランダ)、2013年(カナダ)、2015年(イギリス)IPC世界選手権出場
- ・2016年リオデジャネイロパラリンピック日本代表 ・2019年ジャンパラ水泳競技大会 200m自由形 2位 他

【競技を始めたきっかけ】

幼少期より、水泳やサッカー、スキー等のスポーツに親しんできて、『東京2009アジアユースパラゲームス』の出場をきっかけに、本格的に競技を始めた。

【宮崎選手にとってスポーツとは(スポーツの魅力)】

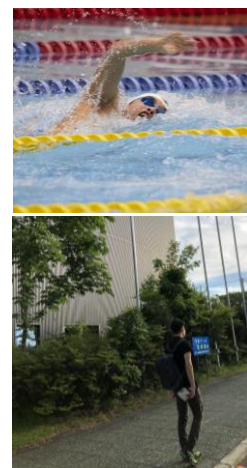
自分自身に挑戦すること。人との出会いが自分の力になること。

【目標や夢】

本来の自分を取り戻し、東京パラリンピック派遣標準記録を突破し、本大会出場・決勝進出する。

【皆さんへのメッセージ】

北海道では警戒ステージが上がり、もしかすると皆さんの不安はさらに上がるかもしれないと思っています。感染予防をし、生活リズムと気持ちを整えましょう。私は自分と向き合うことに気づきました。難しい状況ですが、一緒に頑張りましょう。



星澤 克 選手 距離スキー・バイアスロン 札幌出身

- ・2017年全日本障がい者クロスカントリースキー大会 2位 ・2018年平昌パラリンピック日本代表
- ・2017、2019年パラノルディックスキーワールドカップ札幌大会出場 他

【競技を始めたきっかけ】

新田佳浩選手がバンクーバーパラリンピックで活躍する姿を見て憧れを抱き、競技に興味を持ちました。

【星澤選手にとってスポーツとは(スポーツの魅力)】

純粋に楽しめるものでありながら、自分の限界に挑戦したり他人と競ったりもできるもの。人それぞれの楽しみ方が一生できることが大きな魅力だと思います。

【目標や夢】

スポーツを楽しむこと。

【皆さんへのメッセージ】

このコロナ禍で暗いニュースも多い中、スポーツにはその状況を明るく変えられる力があると思います。自分自身が体を動かすことで楽しんだり、スポーツ観戦をすることで明るい気分になったり、興奮したりできると思いますし、それがスポーツの魅力だと思います。密な状況を避けつつ、今後もスポーツを楽しんでいきましょう。



スポーツクラブの再開

札幌ノースウィンド 岩崎圭介 代表

【活動休止中の思い、取り組み】

今年は2月末から8月まで体育館の利用が中止となり、このコロナ禍にできることは何か、ただ耐えるだけの期間にしないためにも今だからこそできる事があるはずと考えていました。

6月に入りようやくチームで集まれるようになり、バスケットができなくてもまずは今やれることをやろうと真駒内公園で坂道ダッシュなど走り込みを始めました。そこで驚かされたのは、競技を始めたばかりの若手選手たちの頑張りでした。走るという単純さが逆に良かったのか、こっちが心配になるほどの頑張りを見せてくれた。その姿には真剣に上達しようと競技に向き合うスポーツ本来の楽しみ方を改めて教えられたし、ベテラン選手たちもその頑強さを認め、そこにはチームとして更なる一体感が生まれていました。このことは体育館で練習しているだけでは得られなかったかもしれないし、この期間だったからこそできたことではないかと感じています。

【再開した活動の状況、今後の目標】

9月より無事練習が再開した一方、依然として先が見えない厳しい状況が続いておりますが、常に今できることに最善を尽くしていけたらと思います



札幌デフバドミントンクラブ 佐藤裕介 代表

【活動休止中の思い、取り組み】

2月頃から体育館が利用できなくなってから、8月までの半年間は活動できない状況でした。また、例年開催されていた全道ろうあ者体育大会や全国ろうあ者体育大会が中止になってしまい、残念だったと思います。

【再開した活動の状況、今後の目標】

8月ようやく再開した時は、コロナ対策の前にクラブ独自のルールを設けて、グループLINEで報告しました。練習再開ができた時は、久しぶりに体を動かせる喜びを味わいながら、ケガには気をつけて練習をしました。また、なかなか外出できなかったこともあり、仲間との再会はすごく嬉しいことでした。

11月上旬に交流大会を行いコロナに負けまいよう楽しく試合ができました。

今後は、ビジターは事前連絡の後に参加してもらうように進めます。今年度は、大きな大会は中止になってしまいましたが、会員同士の交流をより深める企画を設けて、健康に気をつけながら活動していきたいと思います



札幌 NFC スポーツ事業部サッカー 小島諭師 監督

【活動休止中の思い、取り組み】

新型コロナウイルスの影響により、2月の終わりから5月いっぱいまで活動を休止致しました。サッカースタッフでは、練習再開に向けて何を優先するべきかと、再開後の感染予防対策などを話し合い、再開に向けての準備を進めていました。その間、いつから再開するのか気にかけている選手も多く個別に連絡を取っていました。

【再開した活動の状況、今後の目標】

活動は自宅での検温やマスクの着用、練習前の消毒などの感染予防対策をとり、6月から再開しました。密を避ける目的と休止期間があったことによる怪我の予防を考え、全体を半分に分け、隔週での練習で再開しました。

徐々にサッカーが出来、とても良い表情をしている選手達を見て、改めてスポーツの力の凄さを感じました。その後、カテゴリー毎に練習曜日をずらす事で隔週から毎週練習に戻しましたが、また11月から活動はお休みになっています。今年はあらゆる大会が中止となりましたが、サッカーが出来る場所を作る事が何よりも大切だと感じ、感染予防対策を強化しながら活動再開を目指しています。





賛助会員ご加入ありがとうございました

◆ 個人

令和2年7月1日～11月30日

(受付順・敬称略)

後藤 宗夫	清杉 政敏	吉村 篤	笹倉 準	櫻井 文雄	清野 忠雄
讚良 美規	佐藤 紀子	小倉 研二	長田 弘幸	大倉 由晴	大木 竜也
富樫 晋	足立 広亮	坂上 崇男	菊地 大志	柴野 コネ	馬場 順子
多田 幸子	佐々木美香子	竹村 真一	伊藤 弘己	山本 公崇	彦坂 歌子
大竹 拓	佐藤 哲男	佐藤 順子	西川ひろみ	渡辺 覚	加藤 浩子
秋山 實夫	鈴木 孝芳	小坂こゆき	佐藤 陽子	大郷 裕之	後藤 大輔
計良 朝子	岩崎 圭介	中田 雅幸	田中 斉	小泉 正樹	奥村 彰大
佐藤 美賀	鈴木 靖	奥木 貴史	戸嶋 義拓	小松 宏次	大塚 肇
加藤 廣信	佐藤 成恵	藤田 治	藤井 和雄	豊島 邦幸	長田 直幸
鈴木 香	系数 健吾	川上 重子	氣境小夜子	福島 太郎	佐藤 隆之
大長 記興	中川 剛	花田 裕芳	田代加代子	小林 俊勝	富樫 眞弓
平林由香里					

◆ 法人・団体 令和2年7月1日～11月30日

(受付順・敬称略)

NPO 法人札幌肢体不自由児者父母の会	(株)札幌義肢製作所	札幌協ボウリングクラブフレンドリーアイ札幌
(株)エムワイコーポレーション	FID 札幌鈴蘭卓球倶楽部	医療法人社団 小原眼科医院
(株)スポーツショップキタザト	サッポロペンギンクラブ	札幌デフ・カーリングクラブ
ドリームボッチャ札幌	日通商事(株)札幌支店	札幌デフバドミントンクラブ
札幌特連バスケットボールチーム	新弘設備工業(株)	北海道コカ・コーラボトリング(株)
札幌市身体障害者パークゴルフクラブ	札幌水泳協会	札幌市障害者卓球クラブ アクティヴ24
札幌 NFC ソフトボールチーム	札幌ノースウインド	NPO 法人工房ウッディートイズ
ハンディキャップテニスクラブ	岩崎電子(株)	日本身体障害者団体連合会 東北事業所
北海道ライナー(株)	ミズノ(株)北海道営業所	札幌 NFC サッカーチーム
札幌陸上競技協会	札幌卓球連盟	ジュンスポーツクラブ
央幸設備工業(株)	(株)エムケ中田商会	成徳学園せいとく介護こども福祉専門学校
錦城護謄(株)	(株)ほくでんアソシエ	

令和2年度(4月1日～11月30日)

・個人会員	122 件	303,000 円
・法人・団体会員	59 件	405,000 円
・合計	181 件	708,000 円

☆賛助会員の募集☆

障がい者スポーツの普及と振興を図り、障がい者の福祉の推進に寄与するという当協会の活動にご賛同いただきありがとうございます。

今後とも障がい者スポーツの発展に努力してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

ススポの伝言板

空白の年...

紀元前5千年から現在までを収める年表がイギリスにあって、例えば1789年ならバスチューグ監獄襲撃に始まるフランス大革命があり、毎年何事か起こっていたが、989年という年は王朝の転覆も戦争も何一つ起こらず、この年だけが空白になっているようだ。

翻って2020年は、ペストと並ぶ疫病のパンデミックがあった年として記憶されるかもしれないが、あらゆる社会活動が停滞したという意味ではやはり空白の年として後世に伝えられるかもしれない。

日本人は、自分の人生を周囲の環境のせいにしがちだと言われる。しかし、昨年のラグビーW杯で日本中が熱狂したのは、日本代表が勝っただけではなく、選手一人一人が生き生きと主体的にプレーしたこと、失敗したり乗り越えたりその困難にチャレンジする姿に感動したからだと言われている。

想定外の災禍に世界が手探りしつつさまよっている中、スポーツの大切な部分を見失うことなく、新たな年を迎えたいと思います。「佳いお年を」